

須金・大津島の交流会

4月7日(日)大津島桜祭りの開催されている会場で、須金と大津島地区のお年寄りが春の交流会行いました。この会には、折から来島されていた。前徳山市長の小川亮さんも飛び入りで参加され、皆さんから大歓迎を受けました。桜まつりの催しを楽しみながら大いにふれあいを深め、楽しい一日を過ごしました。



大津島地区体育振興会

平成14年度の体育振興会の委員(敬称略)です。よろしくお願いします。

近江	石田 悟・石田 輝正	馬島1	石丸 頼時・佐藤 政男
瀬戸浜	赤瀬 清次・弓崎 友明	馬島2	古城 秀昭・佐藤 哲生
刈尾	安達 登喜久・安達 幸治	馬島3	石丸 貢・宗 正雄
本浦東	石田 邦子・御手洗 正	馬島4	石丸 望・佐藤 賢治 ☆藤原 智美
本浦中	☆安達 恭一・田村 豊	馬島5	◎古城 隆夫・松本 厚
本浦西	安達 雅之・内田 相司	柳 浦	古城 圓・佐藤 明男
天 浦	○安達 暁		

◎は会長○は副会長☆は県民スポーツ推進員

- 2 - ◇徳山市体育指導委員は河島元一

全日本「小さな親切」作文コンクール 優秀賞 人と人をつなぐ言葉

徳山市立大津島中学校一年 古城 涼太

僕は大津島という小さな島に住んでいます。大津島は、お年寄りの方が人口の半分以上います。

僕が遊んだり、歩いている時などよくお年寄りの方に会います。そして「おはようございます。」や「こんにちは。」「さようなら。」と言うと、知らない人でも大津島の方は、「おはよう。」や「こんにちは。」「おかえり。」と僕がその人の子供であるかのように温かい言葉で返事をしてくださいます。たまにあいさつをしてそのまま学校の話をするときだってあります。この大津島の方は、町の方から船に乗って遊びに来ている人にも優しく、道の分からない所を聞かれると教えてあげたり、それに、大津島の昔話や、いい場所を教えてくださいたりもします。こんな人たちにあいさつをすると自分も少しくれしくなります。しかし、船で町へ出かけると、大津島の人とは違いこちらがあいさつをしても、返事もしないし、頭を少しでも下げて返事をしたらうれしいけれど、頭もそのままでも通り過ぎて行ってしまいます。

大津島の人だったら、「こんにちは。」とか言うのにどうして町の方はだまっているのだろうかと思います。お互いにあいさつをすれば、なんだかうれしくなるけど、自分があいさつをしたのに、返事を返してくれないと少しさびしくなります。

町の人や島の方はどうしてあいさつをするしないが違うのだろうと思いました。町は人がたくさんいるけど、大津島には人が少ないせいかもしれません。

しかし、人が多い少ないなど関係なしにあいさつは、だれでもどんな人にも出来ることだから、みんながあいさつをすれば、世界のどんな人とも仲良くなれると思います。自分の知っている人だからあいさつをする。自分の知らない人だからあいさつをしない。違う国の人だからあいさつをしない。それは違うと思います。

いろいろな国の方が、いろいろな国の言葉で、いろいろな場所であいさつをして友だちになってつながっていくんだと僕は思います。

あいさつは、だれに言うのにも決まっていない、世界の誰かをつなぐ言葉だと思います。

入賞おめでとう。

昨年小さな親切運動中央本部が行った全日本「小さな親切」作文コンクールに全国の小・中学生から51,349編の応募があり、その作品の中から何と大津島中一年の古城涼太君が見事優秀賞に輝く快挙がありました。心から祝意を表します。